

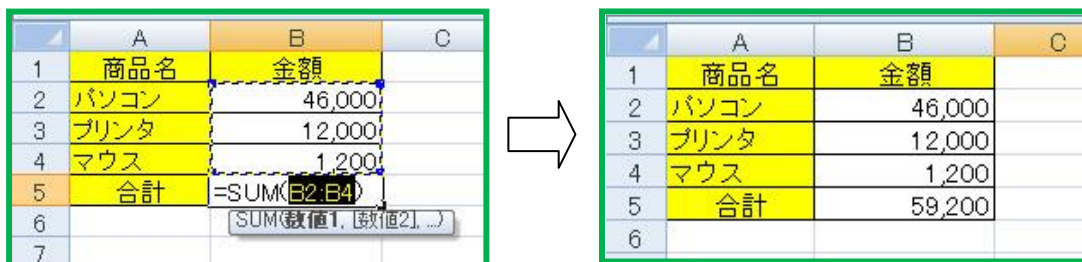


関数のはじまり、合計を求める (オート SUM)

関数とは良く使われる計算やデータ処理の手順に名前を付けて簡単に実行できるものです。SUM関数を使う事で簡単に合計を出す事が出来ます関数の入力方法にはいくつかありますので、ここでは、2種類の方法について書いていきたいと思います。

方法①

合計を計算させたいセル (答えを出したいセル) を選択し、オートSUMボタン  を押しま
す。数式「=SUM(B2:B4)」または点線で囲まれた合計範囲を確認し、再度オートSUMボタン  を押す (または、Enter キーを押下)。

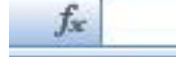


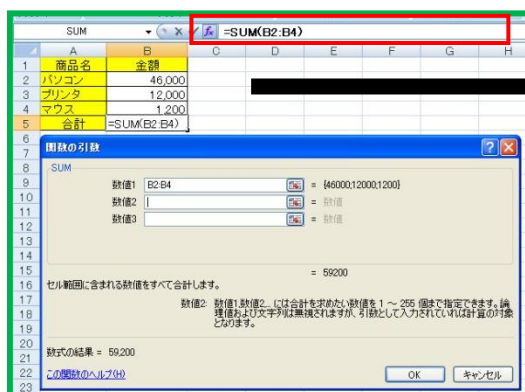
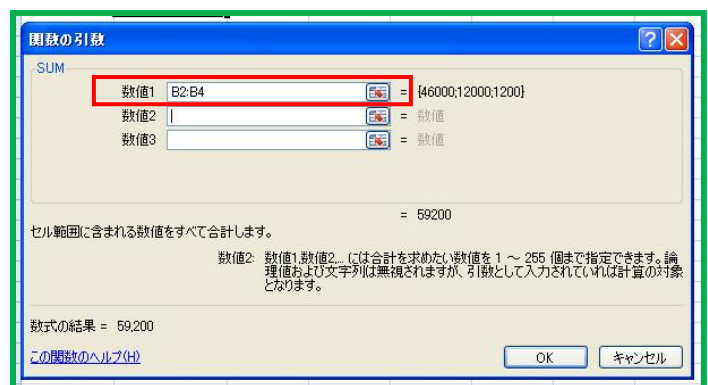
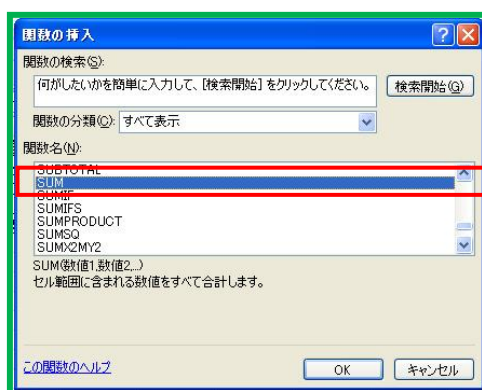
	A	B	C
1	商品名	金額	
2	パソコン	46,000	
3	プリンタ	12,000	
4	マウス	1,200	
5	合計	=SUM(B2:B4)	
6			
7			

⇒

	A	B	C
1	商品名	金額	
2	パソコン	46,000	
3	プリンタ	12,000	
4	マウス	1,200	
5	合計	59,200	
6			
7			

方法②

合計を計算させたいセル (答えを出したいセル) を選択し、関数の挿入ボタン  を
押します。「関数の挿入」ダイアログボックスの関数名で「SUM」を選択。
数値1のボックスにカーソルがあることを確認し「B2:B4」と入力 (セル選択) し OK ボタンを押下。




	A	B	C
1	商品名	金額	
2	パソコン	46,000	
3	プリンタ	12,000	
4	マウス	1,200	
5	合計	59,200	
6			